

第 40 回土木計画学研究発表会（秋大会）：2009 年 11 月 21 日～23 日（金沢大学）
セッション討議内容の記録

セッション名：土地利用モデル	
日付：11月23日（月）曜日、セッション時間：15：00～17：00	
司会者名（所属）：奥村 誠（東北大学）	
討 議 内 容	セッション全体： 都市システムのパターン解析、マイクロシミュレーションモデルに関連する分析手法、時系列分析手法について、それぞれ新しい考え方に基づくアプローチが紹介された。 （相互の関係性は特にないため、全体的なとりまとめを行うことは不可能であった。）
	（231）高山 雄貴（東北大学）： 固有値解析上の安定性の考え方の確認、実社会に対するインプリケーション、空間的セッティングの一般性、田淵モデル（2006）との違いが生じた根本的理由、について討議が行われた。
	（232）大谷 紀子（東京都市大学）： 距離の定義方法、コーティング、最適化の意義について確認がなされた。特にサンプル作成段階で何らかの（世帯タイプや人数のような）基準で並べ直したあとでマッチングした方が効率的になるのではないかという提案があった。論理的矛盾の回避のためルールを反映させる可能性について議論がなされた。
	（233）鈴木 温（名城大学）： 供給者の受入価格と付け値に差がある時に拒否を認めた場合の効率化、世帯の嗜好の一様性についての仮定について確認がなされた。 効用関数の同定方法、最適化問題への変換の可能性について議論が行われた。
	（234）宮城 俊彦（東北大学）： 説明に用いた変数に実質的な意味があるかどうかの確認、学習期間の必要長についての確認が行われた。